

【パターン①】

農業生産活動 ⇒ 高齢化で農業を継続できる体力がなくなり放棄
⇒ 草藪・雑木・林地化 ⇒ 鳥獣誘引 ⇒ 被害の拡大

最も多く見られた形。ほとんどの地域で見られるが、特に林地と接している水田、畑ですでに林地化してしまっているものが多い。

高齢化と鳥獣被害による放棄は、同時進行の場合が多いと思われ、どちらが先かというのは、見た状況だけでは判断が難しい。(現地で話を聞くと、案外判断できる。)



長野市若穂

荒廃化した農地が周辺にも影響を及ぼす



中野市間山

電気柵の上段は水田だが、林地に接し、放棄され、電気柵の外側となっている。